

# 2023 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(法学研究科)

(科目名:法哲学)

2023 年 2 月 18 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

次の【問題 1】、【問題 2】ともに解答しなさい。解答の最初に問題番号を記すこと。

## 【問題 1】

アリストテレスの思想が現代の正義論に及ぼした影響について、法哲学上の議論の蓄積を踏まえながら検討し、詳しく論じなさい。

## 【問題 2】

法の自立性について、法哲学上の議論の蓄積を踏まえながら検討し、詳しく論じなさい。

以上

# 2023 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(科目名:刑法)

(法学研究科)

2023 年 2 月 18 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

## 問題

以下の A 群、B 群からそれぞれ一つのテーマを選択し、その内容、問題点を指摘し、  
学説・裁判例を踏まえつつ、私見を展開してください。

### A 群

- ①因果関係
- ②共謀共同正犯

### B 群

- ①同時傷害の特例
- ②死者の占有

2023 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(法学研究科)

(科目名:商法)

2023 年 2 月 18 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問 1

株主平等原則の意義・機能・限界について具体例を挙げつつ論ぜよ。

問 2

- ①公開会社である A 社の株式の市場価格は、過去 1 年間 1000 円前後で推移している。A 社の取締役会は、1 株 100 円の振込金額で B 社に対して大量の新株を発行することを取締役全員の賛成で決議した。この新株発行について、株主総会の承認を得ることは予定されていない。このとき、A 社の株主 X は会社法上どのような手段をとることができるか。
- ②上記の取締役会決議にもとづき、A 社の代表取締役 C は株主総会決議を経ないまま新株を発行した。これにより、A 社の株式の市場価格は 500 円程度にまで下落した。このとき、A 社の株主 X は会社法上どのような手段をとることができるか。募集事項の公示があった場合となかった場合に分けて論ぜよ。

得点

# 2023 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(法学研究科)

(科目名:刑事訴訟法)

2023 年 2 月 18 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問 下記の文章を読んで、設問 1～設問 3 のうち、1つを選んで解答しなさい。

### 設問 1

日本の誤判救済制度は刑事再審(刑訴法 435 条以下)である。この刑事再審については、長年、刑訴法 435 条 6 号にいう再審開始要件の「新規性」および「明白性」の解釈が議論されてきた。もっとも、近年の学説の議論は、①再審における証拠開示の可否や②再審開始決定に対する検察官抗告の禁止の可否に焦点が移りつつある。

これらの論点について、ありうる論理(論拠と主張)を簡単に示し、あなたのとる論理を示しなさい。

### 設問 2

以下は、いわゆる GPS 監視捜査に関する最大判平成 29 年 3 月 15 日刑集 71 卷 3 号 13 頁の一部である。

GPS 捜査は、対象車両の時々刻々の位置情報を検索し、把握すべく行われるものであるが、その性質上、公道上のもののみならず、個人のプライバシーが強く保護されるべき場所や空間に関わるものも含めて、対象車両及びその使用者の所在と移動状況を逐一把握することを可能にする。このような捜査手法は、個人の行動を継続的、網羅的に把握することを必然的に伴うから、個人のプライバシーを侵害し得るものであり、また、そのような侵害を可能とする機器を個人の所持品に秘かに装着することによって行う点において、公道上の所在を肉眼で把握したりカメラで撮影したりするような手法とは異なり、公権力による私的領域への侵入を伴うものというべきである。

①憲法 35 条は、「住居、書類及び所持品について、侵入、搜索及び押収を受けることのない権利」を規定しているところ、この規定の保障対象には、「住居、書類及び所持品」に限らずこれらに準ずる私的領域に「侵入」されることのない権利が含まれるものと解するのが相当である。そうすると、前記のとおり、個人のプライバシーの侵害を可能とする機器をその所持品に秘かに装着することによって、合理的に推認される個人の意思に反してその私的領域に侵入する捜査手法である GPS 捜査は、②個人の意思を制圧して憲法の保障する重要な法的利益を侵害するものとして、刑訴法上、特別の根拠規定がなければ許容されない強制的処分<sup>(1)</sup>に当たる……。

(1)「強制処分法定主義」(憲法 31 条、刑訴法 197 条 1 項但書)の内容について簡単に述べなさい。そのうえで、令状主義(憲法 33 条、35 条)との違いについて述べなさい。

(2)下線部①②を讀むと、本判決が GPS 監視捜査を「強制処分」とした根拠は、GPS 監視捜査が憲法 35 条の保障する私的領域に「侵入」されることのない権利(②部分のいう憲法の保障する重要な法的利益)を侵害する点にあると考えられる。ただし、その侵害の具体的内容は明らかではない。上記判決の第 1 段落を踏まえて、その具体的内容を明らかにしなさい。そのうえで、(任意処分であるといった立場などから)その論理をあえて批判するならば、どのような批判が可能か簡単に述べなさい。

### 設問 3

いわゆる自白法則(憲法 38 条 2 項、刑訴法 319 条 1 項)について、その趣旨と自白を排除する基準に関する説明を整理しなさい。その際、「虚偽排除」、「人権擁護」、「違法排除」のキーワードを必ず用いること。

そのうえで、この自白法則を中心とする自白の証拠能力のありかたについて、あなたの妥当と考える見解を、その理由を示しつつ述べなさい。

得点

# 2023 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(法学研究科)

(科目名:刑事学)

2023 年 2 月 18 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

次の中から、一問を選んで答えなさい。

- 問1 日本における少年犯罪(少年検挙人員)の減少という現象について、刑事政策・犯罪学の見地からのあなたの見解を述べなさい。
- 問2 2022 年 12 月に名古屋刑務所で発生した刑務官による受刑者に対する暴行事案について、その原因と対策について述べなさい。
- 問3 地方自治体による再犯防止推進計画の現状と課題について述べなさい。

# 2023 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(科目名:税法)

(法学研究科)

2023 年 2 月 18 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

次の問題 1・問題 2 とも解答せよ。

【問題 1】

税法上の不確定概念に関し、具体例を挙げ検討しなさい。

【問題 2】

A 株式会社(同族会社)の代表取締役であり同族株主である個人 X は、相続対策等のため、A 社に 1 億円を返済期限及び利息を定めずに、無担保で貸し付けた。この行為に関する課税関係について、関連する判例に言及した上検討しなさい。

得点

# 2023 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(法学研究科)

(科目名:国際政治学)

2023 年 2 月 18 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

以下の3つの問いの中から2つを選んで、詳しく論じなさい。

- (1) 冷戦の終結
- (2) 米中対立
- (3) 地球温暖化問題とパリ協定

2023 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(法学研究科)

(科目名:英語)

2023 年 2 月 18 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

『毎日新聞』の社説の一部を英訳した以下の文章を読み、問1～2に答えなさい(問題番号を解答の冒頭にそれぞれ明記すること)。

【引用部分は削除しています】

問1 この文章のタイトルを自分なりに考え、それを英語で記しなさい。

問2 この文章をすべて和訳しなさい。

得点

--